

別紙8

製品要件一覧（ネットワーク想定構成）

平成28年5月

厚生労働省年金局事業管理課システム室

別紙8-1 ネットワーク想定構成(一覧)・本番環境

No.	環境区分	システム区分	ハードウェア機器		機器分類	要件					備考	
			設置場所	機器名		台数	スループット	同時セッション数	1000BASE-Tポート	10G SFP+ポート		機能
1	本番環境	個人番号管理(2次)	管理操作ドメイン	情報連携外部・住基接続操作室用L2スイッチ	L2スイッチ	2	-	-	3以上	-	リンクアグリゲーション	
2				外部独自接続認証ファイアウォール	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付)	2	4.87Gbps以上 ※IPS有効状態	50,010以上	6以上	2以上	IPS/IDS リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
3			外部独自接続認証L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	8以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)		
4			外部独自接続認証内側ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源		
5			外部独自接続認証ドメイン	外部独自接続認証内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	8以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
6				外部独自接続認証管理用ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
7				外部独自接続認証管理用L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	8以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
8				クラスタ用HUB	L2スイッチ	2	-	-	3以上	-	リンクアグリゲーション	住基接続サーバ

No.	環境区分	システム区分	ハードウェア機器		要件					備考		
			設置場所	機器名	機器分類	スループット		同時セッション数	1000BASE-Tポート		10G SFP+ポート	機能
						台数	4.87Gbps以上 ※IPS有効状態					
9				情報連携外部側ファイアウォール	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付)	2	4.87Gbps以上 ※IPS有効状態	50,010以上	5以上	2以上	IPS/IDS リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
10				情報連携外部側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	3以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
11				情報連携外部側ロードバランサ	負荷分散装置	2	3.56Gbps以上 ※SSL使用状態 SSLTPS: 2757tps以上	50,000以上	5以上	2以上	SSLアクセラレータ リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源 流入制御 振り分けロジック(リストコネクション・ラウンドロビン) パーシステンス(cookie insert 及び cookie参照) Sorryコンテンツ配置	
12				インターフェイスシステム外側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
13				インターフェイスシステム内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
14				インターフェイスシステム内側ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
15				中間サーバー外側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
16		情報連携(外部)ドメイン		情報連携外部内側ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
17				情報連携外部内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	4以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
18				情報連携外部内側ロードバランサ	負荷分散装置	2	3.56Gbps以上 ※SSL使用状態 SSLTPS: 2757tps以上	50,000以上	5以上	2以上	SSLアクセラレータ リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源 流入制御 振り分けロジック(リストコネクション・ラウンドロビン) パーシステンス(cookie insert 及び cookie参照) Sorryコンテンツ配置	
19				中間サーバー内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	4以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
20				業務用L2スイッチ	L2スイッチ	4	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
21				情報連携外部管理用L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	15以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
22				情報連携外部管理用ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	4以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
23				クラスター用HUB	L2スイッチ	4	-	-	3以上	-	リンクアグリゲーション	インターフェイスシステム(DBサーバ) 中間サーバー(DBサーバ)

別紙8-1-1 ネットワーク想定構成(機能要件)・本番環境

No.	名称	分類	要件詳細
1	L3スイッチ	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
2		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
3		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
4		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
5			コンソールポートを使用できること。
6		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
7			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
8		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
9		G 筐体	19インチラックに設置できること。
10			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
11			モジュール型の場合は、システムを停止することなくモジュールを追加、交換、撤去できること。
12		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
13			電源装置を冗長化できること。
14			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
15		I 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
16		J 機能	外部システムと接続する機器についてはQoS等の通信先制御を行えること。
17			ACLを使った通信制御を行えること。
18			LANワイヤレートでの接続を行えること。
19			異なるLANセグメント(サブネット)を超えた通信について経路プロトコルを使って経路制御する機能を有すること。 (LAN等の高帯域でのルーティングが可能)
20			スタティックルーティングが使用できること。
21			ゲートウェイ冗長化機能が使用できること。
22			ポートに対してVLANを割当てられること。
23			複数台のスイッチを仮想的に1台のスイッチとして動作させる機能で冗長化すること。
24			リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、スイッチ間の複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。
25		K その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。

No.	名称	分類	要件詳細
26	L2スイッチ	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
27		B LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
28		C 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業できること。
29			コンソールポートを使用できること。
30		D 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
31			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
32		E 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
33		F 筐体	19インチラックに設置できること。
34			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
35			モジュール型の場合は、システムを停止することなくモジュールを追加、交換、撤去できること。
36		G 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
37		H 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
38		I 機能	主にLANを構築する際に各種サーバ、接続する端末を集線し、上位の機器へスイッチングさせる機能を有すること。
39			ブロードキャスティングによる通信の輻輳を避けるためハードウェアレベルでのスイッチで通信を行えること。
40	ポートに対してVLANを割当てられること。		
41	複数台のスイッチを仮想的に1台のスイッチとして動作させる機能で冗長化すること。		
42	リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、スイッチ間の複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。		
43	各サーバとネットワーク機器が接続できること。		
44	J その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。	

No.	名称	分類	要件詳細
45	ファイアウォール	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
46		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
47		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
48		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
49			コンソールポートを使用できること。
50		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
51			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
52		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
53		G 筐体	19インチラックに設置できること。
54			予期せぬ接続機器の増加に対応することため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
55		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
56			電源装置を冗長化できること。
57			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
58		I 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
59	J 機能	設定変更や状態を確認するインタフェースを提供する機能を有すること。	
60		通過・拒否したパケットの記録を出力・保存する機能を有すること。	
61		スタティックルーティングが使用できること。	
62		ゲートウェイ冗長化機能が使用できること。	
63		パケットフィルタリング機能を有すること。	
64		ステートフルインスペクション機能を有すること。	
65	リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。		
66	K 保守性	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付き)と機器を統一すること。	
67	L その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。	

No.	名称	分類	要件詳細
68	負分散装置	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
69		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
70		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
71		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
72			コンソールポートを使用できること。
73		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
74			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
75		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
76		G 筐体	19インチラックに設置できること。
77			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
78		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
79			電源装置を冗長化できること。
80			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
81		I 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
82	J 機能	ネットワークにおいて、各リソースへの通信アクセスや要求を一元的に管理し、同等の機能を持つ複数のサーバに要求を分散転送する機能(各サーバ資源を最適化し、通信応答速度を保つ機能)を有すること。	
83		スタティックルーティングが使用できること。	
84		以下のような方式を使用して、継続的に同一サーバへセッションを転送できること。 ・cookieに設定されているセッションIDを参照 ・cookieにクライアントIDまたはサーバIDを挿入	
85		コンテンツチェックにより、故障が発生しているサーバにはリクエストを転送しないよう負分散対象から切り離すことができること。	
86		接続制限値(最大同時コネクション数)を設定し、この制限を超える分のリクエストは自身の状況伝達サーバ機能を使用して状況伝達が可能であること。	
87		リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。	
88		SSLによる暗号通信で送受信されるデータの復号ができること。	
89		K 負分散方式	ラウンドロビン方式及び最小コネクション方式による振り分けができること。
90	L セキュリティ機能	セキュリティホールが発見された時に、迅速に修正モジュールの入手が可能な開発ベンダからソフトウェアを入手できること。	
91		使わないポートを閉じられること。	

No.	名称	分類	要件詳細
92	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付き)	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とする。
93		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
94		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
95		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
96			コンソールポートを使用できること。
97		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
98			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
99		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
100		G 筐体	19インチラックに設置できること。
101			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
102		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
103			電源装置を冗長化できること。
104			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
105		I 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
106		J 機能	バケットフィルタリング機能を有すること。
107			ステートフルインスペクション機能を有すること。
108			リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。
109			不正と考えるパターンを設定するシグネチャを更新できること。
110			不正を検知したことを通知できること。
111			証跡管理によりログ解析を行うため、検知情報を記録できること。
112			シグネチャアップデートができること。
113	K ネットワーク侵入検知機能	不正アクセスを検知できること。	
114		ネットワーク上の通信を監視できること。	
115		日常通信で想定される以上の過剰な通信量がネットワーク上に流れたことを検知できること。	
116	L ネットワーク侵入防止機能	不正アクセスを検知、遮断する機能を有すること。	
117		ネットワーク侵入検知機能により、ネットワークを介した不正と考えられる通信を検知したことを伝達できること。	
118	M 検知パターン更新機能	不正アクセスと考えられる通信パターンを設定するシグネチャを更新できること。	
119	N アラート機能	不正を検知したことを通知できること。 ・検知元 ・検知時刻 ・不正と検知した内容	
120	O 保守性	ファイアウォールと機器を統一すること。	
121	P その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。	

本別添は個人番号サブシステム(1次)の詳細設計にて確定した要件を参考に記載したものである。情報提供依頼書附属資料及び技術資料を参照し必要な製品と数量を選定すること。

別紙8-2 ネットワーク想定構成(一覧)・検証環境

No.	環境区分	システム区分	ハードウェア機器		機器分類	要件					備考	
			設置場所	機器名		台数	スループット	同時セッション数	1000BASE-Tポート	10G SFP+ポート		機能
1	検証環境	個人番号管理(2次)	管理操作ドメイン	情報連携外部・住基接続操作室用L2スイッチ	L2スイッチ	2	-	-	3以上	-	リンクアグリゲーション	
2				外部独自接続認証ファイアウォール	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付)	2	4.87Gbps以上 ※IPS有効状態	50,010以上	6以上	2以上	IPS/IDS リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
3			外部独自接続認証L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	8以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)		
4			外部独自接続認証内側ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源		
5			外部独自接続認証ドメイン	外部独自接続認証内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	8以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
6				外部独自接続認証管理用ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
7				外部独自接続認証管理用L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	8以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
8				クラスタ用HUB	L2スイッチ	2	-	-	3以上	-	リンクアグリゲーション	住基接続集約サーバ

No.	環境区分	システム区分	ハードウェア機器		要件						備考	
			設置場所	機器名	機器分類	台数			機能			
						台数	スループット	同時セッション数	1000BASE-Tポート	10G SFP+ポート		
9				情報連携外部側ファイアウォール	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付)	2	4.87Gbps以上 ※IPS有効状態	50,010以上	5以上	2以上	IPS/IDS リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
10				情報連携外部側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	3以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
11				情報連携外部側ロードバランサ	負分散装置	2	3.56Gbps以上 ※SSL使用状態 SSLTPS:2757tps以上	50,000以上	5以上	2以上	SSLアクセラレータ リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源 流入制御 振り分けロジック(リストコネクション・ラウンドロビン) パーシステンス(cookie insert 及び cookie参照) Sorryコンテンツ配置	
12				インターフェイスシステム外側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
13				インターフェイスシステム内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
14				インターフェイスシステム内側ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
15				中間サーバー外側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
16				情報連携外部内側ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	5以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
17		情報連携(外部)ドメイン		情報連携外部内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	4以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
18				情報連携外部内側ロードバランサ	負分散装置	2	3.56Gbps以上 ※SSL使用状態 SSLTPS:2757tps以上	50,000以上	5以上	2以上	SSLアクセラレータ リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源 流入制御 振り分けロジック(リストコネクション・ラウンドロビン) パーシステンス(cookie insert 及び cookie参照) Sorryコンテンツ配置	
19				中間サーバー内側L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	4以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
20				業務用L2スイッチ	L2スイッチ	4	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	5以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
21				情報連携外部管理用L2スイッチ	L2スイッチ	2	スイッチファブリック: 108Gbps以上	-	15以上	-	リンクアグリゲーション スタック(同等機能含む)	
22				情報連携外部管理用ファイアウォール	ファイアウォール	2	4.87Gbps以上	50,010以上	4以上	2以上	リンクアグリゲーション ホットスタンバイ 冗長電源	
23				クラス用HUB	L2スイッチ	4	-	-	3以上	-	リンクアグリゲーション	インターフェイスシステム(DB集約サーバ) 中間サーバー(DB集約サーバ)
24				クラス用HUB(中間サーバー(DBサーバ用))	L2スイッチ	2	-	-	3以上	-	リンクアグリゲーション	

別紙8-2-1 ネットワーク想定構成(機能要件)・検証環境

No.	名称	分類	要件詳細
1	L3スイッチ	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
2		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
3		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
4		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
5			コンソールポートを使用できること。
6		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
7			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
8		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
9		G 筐体	19インチラックに設置できること。
10			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
11			モジュール型の場合は、システムを停止することなくモジュールを追加、交換、撤去できること。
12		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
13			電源装置を冗長化できること。
14			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
15		I 外形寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
16		J 機能	外部システムと接続する機器についてはQoS等の通信先制御を行えること。
17			ACLを使った通信制御を行えること。
18			LANワイヤレートでの接続を行えること。
19			異なるLANセグメント(サブネット)を超えた通信について経路プロトコルを使って経路制御する機能を有すること。 (LAN等の高帯域でのルーティングが可能)
20			スタティックルーティングが使用できること。
21			ゲートウェイ冗長化機能が使用できること。
22			ポートに対してVLANを割当てられること。
23			複数台のスイッチを仮想的に1台のスイッチとして動作させる機能で冗長化すること。
24			リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、スイッチ間の複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。
25		K その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。

No.	名称	分類	要件詳細
26	L2スイッチ	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
27		B LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
28		C 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業できること。
29			コンソールポートを使用できること。
30		D 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
31			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
32		E 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
33		F 筐体	19インチラックに設置できること。
34			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
35			モジュール型の場合は、システムを停止することなくモジュールを追加、交換、撤去できること。
36		G 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
37		H 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
38		I 機能	主にLANを構築する際に各種サーバ、接続する端末を集線し、上位の機器へスイッチングさせる機能を有すること。
39			ブロードキャスティングによる通信の輻輳を避けるためハードウェアレベルでのスイッチで通信を行えること。
40			ポートに対してVLANを割当てられること。
41			複数台のスイッチを仮想的に1台のスイッチとして動作させる機能で冗長化すること。
42			リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、スイッチ間の複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。
43			各サーバとネットワーク機器が接続できること。
44		J その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。

No.	名称	分類	要件詳細
45	ファイアウォール	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
46		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
47		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
48		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
49			コンソールポートを使用できること。
50		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
51			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
52		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
53		G 筐体	19インチラックに設置できること。
54			予期せぬ接続機器の増加に対応することため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
55		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
56			電源装置を冗長化できること。
57			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
58		I 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
59		J 機能	設定変更や状態を確認するインタフェースを提供する機能を有すること。
60	通過・拒否したパケットの記録を出力・保存する機能を有すること。		
61	スタティックルーティングが使用できること。		
62	ゲートウェイ冗長化機能が使用できること。		
63	パケットフィルタリング機能を有すること。		
64	ステートフルインスペクション機能を有すること。		
65	リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。		
66	K 保守性	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付き)と機器を統一すること。	
67	L その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。	

No.	名称	分類	要件詳細
68	負分散装置	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とすること。
69		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
70		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
71		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
72			コンソールポートを使用できること。
73		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
74			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
75		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
76		G 筐体	19インチラックに設置できること。
77			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
78		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
79			電源装置を冗長化できること。
80			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
81		I 外形寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
82	J 機能	ネットワークにおいて、各リソースへの通信アクセスや要求を一元的に管理し、同等の機能を持つ複数のサーバに要求を分散転送する機能(各サーバ資源を最適化し、通信応答速度を保つ機能)を有すること。	
83		スタティックルーティングが使用できること。	
84		以下のような方式を使用して、継続的に同一サーバへセッションを転送できること。 ・cookieに設定されているセッションIDを参照 ・cookieにクライアントIDまたはサーバIDを挿入	
85		コンテンツチェックにより、故障が発生しているサーバにはリクエストを転送しないよう負分散対象から切り離すことができること。	
86		接続制限値(最大同時コネクション数)を設定し、この制限を超える分のリクエストは自身の状況伝達サーバ機能を使用して状況伝達が可能であること。	
87		リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。	
88		SSLによる暗号通信で送受信されるデータの復号ができること。	
89		K 負分散方式	ラウンドロビン方式及び最小コネクション方式による振り分けができること。
90	L セキュリティ機能	セキュリティホールが発見された時に、迅速に修正モジュールの入手が可能な開発ベンダからソフトウェアを入手できること。	
91		使わないポートを閉じられること。	

No.	名称	分類	要件詳細
92	ファイアウォール(侵入検知/防止装置機能付き)	A 構成	主系、従系で2台以上の構成とする。
93		B LAN インタフェース	各サーバとネットワーク機器が接続できること。
94		C LAN ポート数	各サーバとネットワーク機器が接続するために必要なポート数を有すること。
95		D 設定方法	SSH等暗号通信を利用した遠隔設定作業ができること。
96			コンソールポートを使用できること。
97		E 装置管理	SNMPにより、機器内の内部情報を取得(Get)及び情報を通知(Trap)できること。
98			SYSLOGを使用でき、ログを転送できること。
99		F 時刻同期	NTPサーバと時刻同期できること。
100		G 筐体	19インチラックに設置できること。
101			予期せぬ接続機器の増加に対応するため、モジュール型等の拡張が容易なもの、又は空きポートの余裕があるものであること。
102		H 電源	AC100V、又は200V(50/60Hz)であること。
103			電源装置を冗長化できること。
104			システムを停止することなく電源装置を交換できること。
105		I 外型寸法・重量・最大消費電力	設置場所の条件に従うこと。
106		J 機能	バケットフィルタリング機能を有すること。
107			ステートフルインスペクション機能を有すること。
108			リンクアグリゲーション機能を有し、伝送路の冗長性を確保するため、複数の物理リンクを論理的に1本にまとめることができること。
109			不正と考えるパターンを設定するシグネチャを更新できること。
110			不正を検知したことを通知できること。
111			証跡管理によりログ解析を行うため、検知情報を記録できること。
112			シグネチャアップデートができること。
113	K ネットワーク侵入検知機能	不正アクセスを検知できること。	
114		ネットワーク上の通信を監視できること。	
115		日常通信で想定される以上の過剰な通信量がネットワーク上に流れたことを検知できること。	
116	L ネットワーク侵入防止機能	不正アクセスを検知、遮断する機能を有すること。	
117		ネットワーク侵入検知機能により、ネットワークを介した不正と考えられる通信を検知したことを伝達できること。	
118	M 検知パターン更新機能	不正アクセスと考えられる通信パターンを設定するシグネチャを更新できること。	
119	N アラート機能	不正を検知したことを通知できること。 ・検知元 ・検知時刻 ・不正と検知した内容	
120	O 保守性	ファイアウォールと機器を統一すること。	
121	P その他	先行稼働で導入した機器を使用する場合は、必要に応じてネットワークインタフェースモジュールを追加すること。	

本別添は個人番号サブシステム(1次)の詳細設計にて確定した要件を参考に記載したものである。情報提供依頼書附属資料及び技術資料を参照し必要な製品と数量を選定すること。